

様式第4号その①（第6条関係）

令和 8 年 4 月 4 日

宗像市長 伊豆 美沙子 様
（宗像市議会議長経由）

議員名 岩 岡 良



政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙
のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和 7 年度政務活動費収支報告書

議員名 岩 岡 良

1 収入

政務活動費 264, 000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	0	0
資料作成及び資料購入費	0	0
広報及び広聴費	264, 000	264, 000
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	264, 000	264, 000

3 残額

0 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)

令和7年度 政務活動費明細書

No	内容	項目	費目												(単位:円)	
			旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料	賃金	その他	領収書額	政務活動費報告額
1	広報誌配布費 /	広報及び広聴費										95,040	/		95,040	95,040
2	広報誌作成費 /	広報及び広聴費				168,960	/								168,960	168,960
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合 計						168,960						95,040			264,000	264,000

研修開催費		
調査研究費		
資料作成・資料購入費		
広報及び広聴費	264,000	264,000
人件費		
事務所費		
合 計	264,000	264,000

領 収 証

No. 00530

岩岡 良

様

2025 年 6 月 16 日

¥ 95,040 -

但し 5/17 ポスティング料

(現金・小切手・振込)

上記金額正に領収いたしました

内訳

税 率	税抜金額	86,400
10 %	消費税額	8,640
税 率	税抜金額	
%	消費税額	



株式会社

毎日メディアサービス

〒812-0004 福岡市博多区
福岡営業部 TEL (092)471-1177 FAX (092)471-1149
サンデー事業部
登録番号 T8290801003470

取扱者

領 収 証

令和8年3月30日

岩岡 良 様

株式会社
福岡県宗像市
TEL : 090-7157-751
代表取締役
登録番号 : T8



毎度格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。下記のとおり領収いたしました。

領収金額合計 168,960 円

注文No.	制 作 内 容	数量	単位	単価	金額	備考
パンフレット	A3サイズ 2つ折り 両面カラー コート90kg	25,000	部	6.144	153,600	
	消費税 (10%)	1	式		15,360	
合 計		168,960 円 (税込)				

東郷橋東の交差点改良について(令和8年3月議会・一般質問)

令和6年6月及び令和7年6月定例会の一般質問において、市内中心部に位置する東郷橋東の交差点については、北東から南西に向かって通行しながら右折を試みようとしても、右折信号がないことに加えて、前方に位置する東郷橋西の信号との時差があるため、右折が極めて難しい状況にあることから、この解決を求めてきたが、どのような進展がみられたか？

回答結果 令和6年6月から令和7年6月に至るまで、信号行政を司る福岡県警との間で、右折信号の設置した場合の滞留長(渋滞を生じさせる原因となる交通の滞り)シミュレーションや黄色点滅信号の設置などについて複数回の協議を行い、令和7年7月から8月にかけては、実際に信号の時間を変更して道路交通に及ぼす影響について調査を行った。しかし、右折車両の通行を優先すると、今度は橋梁上に直進する車両の滞留を発生させることとなり、全体としてかえって交通状況が悪化するという結果となったため、右折信号の設置等という手法については断念せざるを得なかったことも踏まえて、路面に車両の走行を誘導するアプローチ表示(白・青)を新設するという結論に至った。このことにより、右折車両の停止位置が前方に向けて明確になることで、これまでよりも交差点内で待機できる車両数の増加が図られる結果、一度の信号周期の中で右折可能車両の増加が期待されるとともに、直進する対向車線に色付け(赤)することによって、交差点内の交通錯綜を防止し安全性も確保する。

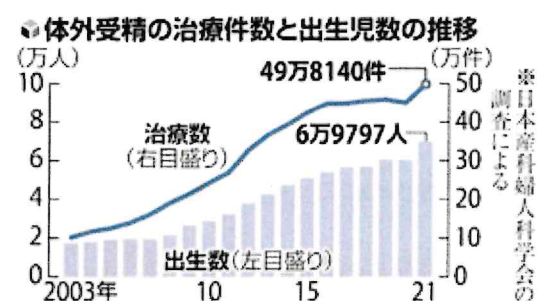


不妊治療の助成制度創設について(令和8年3月議会・予算委員会)

令和5年3月議会及び令和7年3月議会において、令和4年の不妊治療の保険適用化にともない、それまで活用できた助成制度が全国的に廃止されたことで、保険適用後において、かえって自己負担が多くなる矛盾が生じる例を引き合いに、子どもを望んでいるにもかかわらず、その希望がかなわない方へのサポートの必要性から、不妊治療に対する市独自の支援制度の創設を求めてきたが、その進捗はどのようなになったのか。

回答結果 少子化はまちの持続性に関わる重要な課題となっており、不妊治療に対する支援は少子化対策として直接的な効果が見込まれる有効な手だてであると認識しているため、令和8年4月より、不妊治療助成事業を開始することとした。尚、県内でもこれに取り組む自治体は極めて少ないが、宗像市が開始する助成制度は、先進医療分も含むため最も手厚いものとなる。宗像市は当然として、福岡市や北九州市等の県内幅広い地域の医療機関にも通達し、医療機関から受診する方々へ直接費用負担軽減の案内をして頂く。下に図解しますが、詳しくは、宗像市子ども家庭センター(0940-36-1365)までお問い合わせください。

【約10人に1人の新生児が体外受精で誕生している】



【助成内容の概要】

	一般不妊治療	生殖補助医療等
治療種別	タイミング法、人工受精	体外受精、顕微授精等及び生殖補助医療に付随する先進医療
助成額	1年間(4月1日～3月31日)につき合計2万円を上限	1回の治療につき5万円を上限
回数制限	—	保険適用の範囲(40歳未満は1子ごとに通算6回まで、40歳以上43歳未満は1子ごとに通算3回まで)※女性の年齢
備考	検査費用等含む	生殖補助医療の一環として、保険診療で行った男性不妊治療及び検査費用等含む

宗像市議会議員

いわおか良 活動報告

vol.11

りょう



ご報告

市議会議員として3期目10年目をむかえ、これまでも増して市民の皆様から多くのご意見を頂戴していますことに、改めて深く感謝申し上げます。頂いたお声を議会でどのように発言しているのかについて、例年どおり、直近一年の議会活動の中から一般質問の内容を中心にご報告いたします。一昨年から議会改革を司る議会運営委員会の委員長職を預かることとなり、「議会全体が住民の代表として信頼される組織」になることを目的に力を尽くしております。今回の活動報告では、その歩みについても併せてご報告いたします。

議会運営委員会委員長として思うこと

いわおか良の思い

皆様にとって宗像市議会とはどのような存在でしょうか。現在、各議員が皆様から託された課題・要望を議会の場で表現し、その解決や実現にむけて努力しています。しかし、一方で市政・国政を問わず政治不信が広がる中、「議員は役に立たない」「しっかりと働いているのか」「もっと数を減らすべき」という厳しいお声も頂戴します。この点、私自身も人口減少時代に向けて、初挑戦以来一貫して、宗像市議会においても議員定数の削減が必要だと訴えてきました。そして、**この想いは今でも変わりません。**

信頼される市議会へ

ですが、議会運営委員会の委員長として、もう少し視野を広げて感じましたことは、もし市議会が本当に皆様から信頼される機関であれば、議員定数の削減を求める声はなくなるのかもしれない、ということです。市議会が、議員間の競争ではなく、政党や会派のパフォーマンスを超えて住民の代表機関としての役割を果たすことができたなら、皆様にとっては行政と対峙する心強い存在になるのではないかと、ということです。

この考えのもと、現在、議会運営委員会として挑戦しているテーマは『委員会代表質問』の導入です。

現状では、各々の議員が課題解決にむけて一般質問や委員会審議を通して活動していますが、**その課題を個人ではなく、党派・会派を超えて組織される常任委員会として共有したうえで、一丸となって行政と向き合うことができれば、これまで以上に大きな力となりスピード感をもって課題の解決がなされると考えるからです。**

取り組みの現状

そして、少しずつではありますがこの歩みは進み始めました。昨年に開催した議会報告会は、常任委員会単位でテーマを設定し、全員がそこで寄せられた課題を共有し、議会での共同提言に活かそうとしているからです。**党派・会派を超えて議会の役割を果たそうという挑戦が始まりました。**

一方で、実現には多くのハードルもあります。全国に1741ある地方議会でも、この『委員会代表質問』という制度を導入している自治体は極めて少ないだけでなく、導入自治体においても、議員間の足並みの乱れ(考えの不統一)は共同質問に際して致命傷になるため、極めて慎重な運営がなされているからです。

しかし、この難しい課題にこそ、宗像市議会が全国に先駆けてでも挑戦する価値があると考えています。本当に住民から信頼される議会を目指す私たちの活動に、少しでも関心をお寄せ頂けると幸いです。

公園・道路植栽等の維持管理について(令和7年6月議会・一般質問 令和8年3月予算委員会)

1 本市においては、公園等の植栽管理を、専門業者に個別委託しているが、伐採等における完了基準がないため、業者によってバラツキが生じている。明確な管理基準を設定する必要があるのではないか。

回答結果 管理基準というのは必要になってくると考えているため、今後しっかり固めたい。

2 公園や道路の植栽については、費用対効果を含めて効率的な管理を行うためには、全体の総量を減らすべきではないか。

回答結果 メリハリの利いた管理体制を検討していく。

この点、令和8年3月予算委員会にて、「公園・道路の管理については、令和8年7月から、管理基準を設定したうえ、民間業者に包括管理委託する方向性」が示されました。また「植栽の総量についても、今後10年間で市内全体の20%を削減し、効率的な管理を行う方針」が示されました。

3 過去の一般質問において公園等の草刈りについては、行政による管理だけでは回数として足りていない現状があるため、住民有志による除草作業が行われている地域も多いが、住民全体の高齢化によって、これも難しくなってきたという課題を解決する手段として、自動草刈りロボットの導入を求めてきた。メーカーとも直接協議を行い、宗像市を試験的な実証モデル都市に選んでいただけるような交渉をするなどすれば、メーカーにとっても、実績を積むことができるというようなウィン・ウィンの関係が結べるのと考えているため、再度の検討を求めたい。

回答結果 実施可能であって省力化が図れるものと考え、試験導入に関しても検討してまいりたい。

自主防災組織・防災士に対する支援について(令和7年12月議会・令和8年3月議会一般質問)

各自治会の自主防災組織は、その年度の自治会役員たちが主体を担うことが多い一方で、基本的には自治会役員は1年で交代する組織がほとんどであり、何とかこの1年だけ役員を我慢してやるしかないというようなマインドがスタンダードになりつつある現代においては、自治会役員が防災の役割を主体的に果たすことは、そもそも難しいという課題を解決するため、市としては、自主防災組織の実質的な支えとなることを期待して防災士を養成してきた背景がある。しかし、現状では地域の自主防災組織と当該地区にお住いの防災士とが結びついていない場合も多いため、市は両者を繋ぐ役割を積極的に果たすべきではないか。また、防災士が地域の自主防災組織を既に支えている地域においても、防災士が活動するための予算化がなされていないため、十分な活動ができていない。活動費の助成を検討すべきではないか。

回答結果 市と、自主防災組織と、防災士、この三つの連携がうまくいくように取り組みを強化するとともに、必要な活動費の助成について検討する。

コミュニティ施策の在り方について(令和7年12月議会・一般質問)

1 令和7年3月議会において、「現在のコミュニティに与えられるまちづくり交付金は、その用途が極めて限定的であり、柔軟性がないものになっているため、担い手のつながり、広がり、阻害している可能性があるのでは、見直しが必要ではないか」という質問を行った際、市の答弁は「令和7年度に総合的な見直しに着手したい」というものであったが、その後の進捗は。

回答結果 令和9年度からの新制度スタートに向けて、地域がどのような事業に、どの程度の予算を配分しているのかなどの特性把握作業に着手している。検討にあたっては、市やコミュニティ関係者だけではなく、これまでコミュニティとの関わりがなかった客観的視点を持つ市民等にも参加してもらう予定である。

2 令和6年12月議会において、「コミュニティが本当に当該地区の住民に必要とされるためには、市内12地区で展開している画一的な事業を見直し、地区ごとにコミュニティ活動の中身について積極的な差別化を行うべきではないか」という質問を行った際、今後は地域特性に合わせた事業の見直しを行うべく、コミュニティ最適化プロジェクトを進めるとの答弁であったが、その後の進捗は。

回答結果 事業見直しにつきましては、地域の特性に応じた事業立案ができるように、地域の状況を数値的に見える化する地域カルテを作成して住民と共有したうえで、既存事業の見直し及びコミュニティ事業の棚卸し等の改革に全庁的に取り組んで参りたい。

部活動地域展開について(令和7年12月議会・一般質問)

中学校の部活動は学校教育の一環として行われてきたが、今日においては、少子化や教員の負担軽減の必要性から、従前の運営体制では維持が難しくなってきたという課題を前に、令和4年度に国が部活動を地域クラブ活動に移行するという部活動改革の方針を提示したことによって、本市はこれに準ずる形で、令和8年4月には休日の部活動の地域展開を完了し、令和9年9月には平日部活動の地域展開を完了する計画を進めてきた。この点、宗像市は国の方針に従って、真面目に努力してきましたことについては評価する一方で、これを理解しよう、そして必死に支えようとしている保護者や指導者からは、子どもたちが本当に不利益をうけないのかについて、不安の声があがっています。そこで、この不安の声を拭い、手を携えながら進める宗像モデルの確立のためにも、広く意見聴取・意見共有の場を設ける必要があるのではないか。

回答結果 部活動改革は行政と学校だけでできる話ではなく、地域の方の力をお借りしながらやっていくものだと思っているため、地域でどう宗像の子どもたちを育てるかというような意見を交換できる場というのを検討したい。

学校周辺の住民に対する環境整備について(令和7年12月議会・一般質問)

河東西小学校と道を挟み居住する住民にとっては、自宅の2階と同じような高さに学校のグラウンドが立地していることから、少し風が吹いただけでも、グラウンドから飛散する砂埃によって、窓を全く開けることができないなど、長年にわたって大変お悩みを抱えているため、この対策を検討できないか。

回答結果 学校とグラウンドを整備してから27年が経過しており、グラウンドの砂の粒子が少し細くなっているため、建設当時よりは飛散がしやすくなっているという状況もあると認識している。周辺に防砂ネットを張る、ポリカーボネートのつい立てを立てる、塩化カルシウムを散布してグラウンドの水分保持を高めることにより砂ぼこりが飛散しにくいようにする、あるいは飛散そのものがしにくい砂を充填する対策方法など、様々な方面から検討・吟味したうえで、手法が決まり次第、地域の方に説明する。

その他の質問

- ・河東地区のコミュニティ課題(西地区の拠点整備)の解決について(令和7年9月議会)
- ・令和7年8月豪雨に際した災害対応と災害復旧について(令和7年9月議会)
- ・市の文化財行政について、活用の促進と保管状態の改善について(令和7年9月議会)
- ・有害鳥獣被害対策として、猟友会駆除部会の組織力強化について(令和8年3月議会)

いわおか良の一般質問の
議会映像はこちら



【諸報告】 公立学校のトイレ洋式化について

本件については、令和4年の12月議会において、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の中で、令和7年度までに学校トイレの洋式化を95%にするという目標が示されていることを提示し、早期の洋式化を求めてきましたが、令和8年2月現在においては小中学校の合計洋式化率は69%となっています。令和8年度は河東小学校(74%から88%)、中央中学校(47%から96%)に対して大規模改修が予定されているため、今年度末には全体の洋式化率は約73%になる見込みです。この費用に対しては国の支援が全体費用の3分の1しかない事業のため、100%になるにはもう少し時間を要しますが、市も頑張っていますので、ご理解いただけると幸いです。



岩岡 良 議員

東郷橋東の交差点改良について(令和8年3月議会・一般質問)

令和6年6月及び令和7年6月定例会の一般質問において、市内中心部に位置する東郷橋東の交差点については、北東から南西に向かって通行しながら右折を試みようとしても、右折信号がないことに加えて、前方に位置する東郷橋西の信号との時差があるため、右折が極めて難しい状況にあることから、この解決を求めてきたが、どのような進展がみられたか？

回答結果 令和6年6月から令和7年6月に至るまで、信号行政を司る福岡県警との間で、右折信号を設置した場合の滞留長(渋滞を生じさせる原因となる交通の滞り)シミュレーションや黄色点滅信号の設置などについて複数回の協議を行い、令和7年7月から8月にかけては、実際に信号の時間を変更して道路交通に及ぼす影響について調査を行った。しかし、右折車両の通行を優先すると、今度は橋梁上に直進する車両の滞留を発生させることとなり、全体としてかえって交通状況が悪化するという結果となったため、右折信号の設置等という手法については断念せざるを得なかったことも踏まえて、**路面に車両の走行を誘導するアプローチ表示(白・青)を新設するという結論に至った。**このことにより、右折車両の停止位置が前方に向けて明確になることで、これまでよりも交差点内で待機できる車両数の増加が図られる結果、一度の信号周期の中で右折可能車両の増加が期待されるとともに、直進する対向車線に色付け(赤)することによって、交差点内の交通錯綜を防止し安全性も確保した。

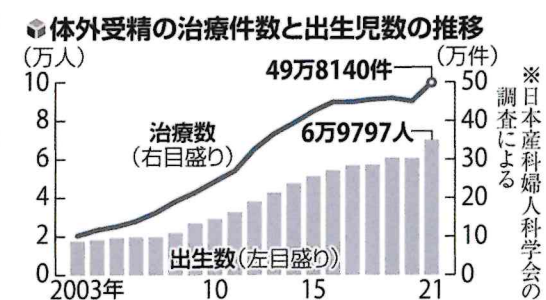


不妊治療の助成制度創設について(令和8年3月議会・予算委員会)

令和5年3月議会及び令和7年3月議会において、令和4年の不妊治療の保険適用化にともない、それまで活用できた助成制度が全国的に廃止されたことで、保険適用後において、かえって自己負担が多くなる矛盾が生じる例を引き合いに、子どもを望んでいるにもかかわらず、その希望がかなわない方へのサポートの必要性から、不妊治療に対する市独自の支援制度の創設を求めてきたが、その進捗はどのようなになったのか。

回答結果 少子化はまちの持続性に関わる重要な課題となっており、不妊治療に対する支援は少子化対策として直接的な効果が見込まれる有効な手だてであると認識しているため、令和8年4月より、不妊治療助成事業を開始することとした。尚、県内でもこれに取り組む自治体は極めて少ないが、宗像市が開始する助成制度は、先進医療分も含むため最も手厚いものとなる。宗像市は当然として、福岡市や北九州市等の県内幅広い地域の医療機関にも通達し、医療機関から受診する方々へ直接費用負担軽減の案内をして頂く。下に図解しますが、詳しくは、宗像市子ども家庭センター(0940-36-1365)までお問い合わせください。

【約10人に1人の新生児が体外受精で誕生している】



【助成内容の概要】

	一般不妊治療	生殖補助医療等
治療種別	タイミング法、人工受精	体外受精、顕微授精等及び生殖補助医療に付随する先進医療
助成額	1年間(4月1日～3月31日)につき合計2万円を上限	1回の治療につき5万円を上限
回数制限	—	保険適用の範囲(40歳未満は1子ごとに通算6回まで、40歳以上43歳未満は1子ごとに通算3回まで)※女性の年齢
備考	検査費用等含む	生殖補助医療の一環として、保険診療で行った男性不妊治療及び検査費用等含む

いとおか良 活動報告

vol.11

りょう

ご報告

市議会議員として3期目10年目をむかえ、これまでも増して市民の皆様から多くのご意見を頂戴していますことに、改めて深く感謝申し上げます。頂いたお声を議会でもどのように発言しているのかについて、例年どおり、直近一年の議会活動の中から一般質問の内容を中心にご報告いたします。一昨年から議会改革を司る議会運営委員会の委員長職を預かることとなり、「議会全体が住民の代表として信頼される組織」になることを目的に力を尽くしております。今回の活動報告では、その歩みについても併せてご報告いたします。

議会運営委員会委員長として思うこと

いとおか良の思い

皆様にとって宗像市議会とはどのような存在でしょうか。現在、各議員が皆様から託された課題・要望を議会の場で表現し、その解決や実現にむけて努力しています。しかし、一方で市政・国政を問わず政治不信が蔓延中、「議員は役に立たない」「しっかりと働いているのか」「もっと数を減らすべき」という厳しいお声も頂戴します。この点、私自身も人口減少時代に向けて、初挑戦以来一貫して、宗像市議会においても議員定数の削減が必要だと訴えてきました。

そして、この想いは今でも変わりません。

信頼される市議会へ

ですが、議会運営委員会の委員長として、もう少し視野を広げて感じましたことは、もし市議会が本当に皆様から信頼される機関であれば、議員定数の削減を求める声はなくなるのかもしれない、ということです。市議会が、議員間の競争ではなく、政党や会派のパフォーマンスを超えて住民の代表機関としての役割を果たすことができたなら、皆様にとっては行政と対峙する心強い存在になるのではないかと、ということです。

この考えのもと、現在、議会運営委員会として挑戦しているテーマは『委員会代表質問』の導入です。

現状では、各々の議員が課題解決にむけて一般質問や委員会審議を通して活動していますが、**その課題を個人ではなく、党派・会派を超えて組織される常任委員会として共有したうえで、一丸となって行政と向き合うことができれば、これまで以上に大きな力となりスピード感をもって課題の解決がなされると考えるからです。**

取り組みの現状

そして、少しずつではありますがこの歩みは進み始めました。昨年に開催した議会報告会は、常任委員会単位でテーマを設定し、全員がそこで寄せられた課題を共有し、議会での共同提言に活かそうとしているからです。

党派・会派を超えて議会の役割を果たそうという挑戦が始まりました。

一方で、実現には多くのハードルもあります。全国に1741ある地方議会でも、この『委員会代表質問』という制度を導入している自治体は極めて少ないだけでなく、導入自治体においても、議員間の足並みの乱れ(考えの不統一)は共同質問に際して致命傷になるため、極めて慎重な運営がなされているからです。

しかし、この難しい課題にこそ、宗像市議会が全国に先駆けてでも挑戦する価値があると考えています。本当に住民から信頼される議会を目指す私たちの活動に、少しでも関心をお寄せ頂けると幸いです。

いとおか良 事務所 〒811-3403 宗像市ひかりヶ丘6-1-56

TEL/FAX 0940-35-4880 E-Mail iwaoka.jimusyo@gmail.com

公園・道路植栽等の維持管理について(令和7年6月議会・一般質問 令和8年3月予算委員会)

1 本市においては、公園等の植栽管理を、専門業者に個別委託しているが、伐採等における完了基準がないため、業者によってバラツキが生じている。明確な管理基準を設定する必要があるのではないか。

回答結果 管理基準というのは必要になってくると考えているため、今後しっかり固めたい。

2 公園や道路の植栽については、費用対効果を含めて効率的な管理を行うためには、全体の総量を減らすべきではないか。

回答結果 メリハリの利いた管理体制を検討していく。
この点、令和8年3月予算委員会にて、「公園・道路の管理については、令和8年7月から、管理基準を設定したうえ、民間業者に包括管理委託する方向性」が示されました。また「植栽の総量についても、今後10年間で市内全体の20%を削減し、効率的な管理を行う方針」が示されました。

3 過去の一般質問において公園等の草刈りについては、行政による管理だけでは回数として足りていない現状があるため、住民有志による除草作業が行われている地域も多いが、住民全体の高齢化によって、これも難しくなってきたという課題を解決する手段として、自動草刈りロボットの導入を求めてきた。メーカーとも直接協議を行い、宗像市を試験的な実証モデル都市に選んでいただけるような交渉をするなどすれば、メーカーにとっても、実績を積むことができるというようなウィン・ウインの関係が結べるのと考えため、再度の検討を求めたい。

回答結果 実施可能であって省力化が図れるものと考えため、試験導入に関しても検討してまいりたい。

自主防災組織・防災士に対する支援について(令和7年12月議会・令和8年3月議会一般質問)

各自治会の自主防災組織は、その年度の自治会役員たちが主体を担うことが多い一方で、基本的には自治会役員は1年で交代する組織がほとんどであり、何とかこの1年だけ役員を我慢してやるしかないというようなマインドがスタンダードになりつつある現代においては、自治会役員が防災の役割を主体的に果たすことは、そもそも難しいという課題を解決するため、市としては、自主防災組織の実質的な支えとなることを期待して防災士を養成してきた背景がある。しかし、現状では地域の自主防災組織と当該地区にお住いの防災士とが結びついていない場合も多いため、市は両者を繋ぐ役割を積極的に果たすべきではないか。また、防災士が地域の自主防災組織を既に支えている地域においても、防災士が活動するための予算化がなされていないため、十分な活動ができていない。活動費の助成を検討すべきではないか。

回答結果 市と、自主防災組織と、防災士、この三つの連携がうまくいくように取り組みを強化するとともに、必要な活動費の助成について検討する。

コミュニティ施策の在り方について(令和7年12月議会・一般質問)

1 令和7年3月議会において、「現在のコミュニティに与えられるまちづくり交付金は、その用途が極めて限定的であり、柔軟性がないものになっているため、担い手のつながり、広がりを阻害している可能性があるため、見直しが必要ではないか」という質問を行った際、市の答弁は「令和7年度に総合的な見直しに着手したい」というものであったが、その後の進捗は。

回答結果 令和9年度からの新制度スタートに向けて、地域がどのような事業に、どの程度の予算を配分しているのかなどの特性把握作業に着手している。検討にあたっては、市やコミュニティ関係者だけではなく、これまでコミュニティとの関わりがなかった客観的視点を持つ市民等にも参加してもらう予定である。

2 令和6年12月議会において、「コミュニティが本当に当該地区の住民に必要とされるためには、市内12地区で展開している画一的な事業を見直し、地区ごとにコミュニティ活動の中身について積極的な差別化を行うべきではないか」という質問を行った際、今後は地域特性に合わせた事業の見直しを行うべく、コミュニティ最適化プロジェクトを進めるとの答弁であったが、その後の進捗は。

回答結果 事業見直しにつきましては、地域の特性に応じた事業立案ができるように、地域の状況を数値的に見える化する地域カルテを作成して住民と共有したうえで、既存事業の見直し及びコミュニティ事業の棚卸し等の改革に全庁的に取り組んで参りたい。

部活動地域展開について(令和7年12月議会・一般質問)

中学校の部活動は学校教育の一環として行われてきたが、今日においては、少子化や教員の負担軽減の必要性から、従前の運営体制では維持が難しくなってきたという課題を前に、令和4年度に国が部活動を地域クラブ活動に移行するという部活動改革の方針を提示したことによって、本市はこれに準ずる形で、令和8年4月には休日の部活動の地域展開を完了し、令和9年9月には平日部活動の地域展開を完了する計画を進めてきた。この点、宗像市は国の方針に従って、真面目に努力してきましたことについては評価する一方で、これを理解しよう、そして必死に支えようとしている保護者や指導者からは、子どもたちが本当に不利益をうけないのかについて、不安の声があがっている。そこで、この不安の声を拭い、手を携えながら進める宗像モデルの確立のためにも、広く意見聴取・意見共有の場を設ける必要があるのではないか。

回答結果 部活動改革は行政と学校だけでできる話ではなく、地域の方の力をお借りしながらやっていくものだと思っているため、地域でどう宗像の子どもたちを育てるかというような意見を交換できる場というのを検討したい。

学校周辺の住民に対する環境整備について(令和7年12月議会・一般質問)

河東西小学校と道を挟み居住する住民にとっては、自宅の2階と同じような高さに学校のグラウンドが立地していることから、少し風が吹いただけでも、グラウンドから飛散する砂埃によって、窓を全く開けることができな、よど、長年にわたって大変お悩みを抱えているため、この対策を検討できないか。

回答結果 学校とグラウンドを整備してから27年が経過しており、グラウンドの砂の粒子が少し細くなっているため、建設当時よりは飛散がしやすくなっているという状況もあると認識している。周辺に防砂ネットを張る、ポリカーボネートのつい立てを立てる、塩化カルシウムを散布してグラウンドの水分保持を高めることにより砂ぼこりが飛散しにくいようにする、あるいは飛散そのものがしにくい砂を充填する対策方法など、様々な方面から検討・吟味したうえ、手法が決まり次第、地域の方に説明する。

その他の質問

- ・河東地区のコミュニティ課題(西地区の拠点整備)の解決について(令和7年9月議会)
- ・令和7年8月豪雨に際した災害対応と災害復旧について(令和7年9月議会)
- ・市の文化財行政について、活用の促進と保管状態の改善について(令和7年9月議会)
- ・有害鳥獣被害対策として、猟友会駆除部会の組織力強化について(令和8年3月議会)

いわおか良の一般質問の
議会映像はこちら



【諸報告】 公立学校のトイレ洋式化について

本件については、令和4年の12月議会において、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の中で、令和7年度までに学校トイレの洋式化を95%にするという目標が示されていることを提示し、早期の洋式化を求めてきましたが、令和8年2月現在においては小中学校の合計洋式化率は69%となっています。令和8年度は河東小学校(74%から88%)、中央中学校(47%から96%)に対して大規模改修が予定されているため、今年度末には全体の洋式化率は約73%になる見込みです。この費用に対しては国の支援が全体費用の3分の1しかない事業のため、100%になるにはもう少し時間を要しますが、市も頑張っていますので、ご理解いただけると幸いです。



岩岡 良 議員